

大崎町で活躍しています ✨ vol.20



1. ミャンマーから大崎町へ

家族を支え、専門技術を身につけたいという想いで、ミャンマーから来日したサンダーさん、イさん、ニンさん、ピューさんの4人。社会福祉法人愛生会で働きながらそれぞれが目標に向かって仕事に取り組んでいます。趣味の音楽や読書を楽しみながらの仲間との生活が、日本での暮らしの大きな支えとなっています。

2. 大崎町での暮らし

日本の文化で特に印象的だと話すのは、場面に応じた多様な挨拶だそうです。その丁寧さの中に、相手への敬意や思いやりを感じると話します。母国では都市部に住んでいたため、夜の静けさや人の少なさに寂しさを感じることもあるそうですが、休みが重なる日に4人で出かける何気ない時間が大切なひととき

となっているようです。

3. それぞれの目標

今後の目標について尋ねると、母国で日本語教師になること、今と同じ仕事を続けること、そしてこれからも日本で暮らしていきたい、といったそれぞれの思いを語ってくれました。大崎町での仕事や生活の経験を大切にしながら、それぞれが将来の目標に向かって歩んでいます。



ピューさん ミンさん イさん サンダーさん

多文化共生サポーターを募集しています！

興味のある方は、右の二次元コードから登録をお願いします。



問 企画政策課
共生協働係 (221)

「きっかけは、声かけから！」

ふるさと納税を活用した事業の紹介 vol.15

このコーナーでは、全国の方々からいただいたふるさと納税（ふるさと応援基金）を活用した事業について連載で紹介していきます。

ふれあいフェスタinおおさき補助金

【ふれあいフェスタinおおさき】は、本町のにぎわい創出と住民の健康増進、地域交流を目的として毎年開催されています。このイベントの運営支援のため、大崎町では補助金を交付しています。

補助金は、ウォーキング大会やステージイベント、マルシェ、抽選会などの催し開催費用に活用され、町民のふれあいや地域活性化につながっています。

今年も11月23日（日）に大崎町中央運動公園で開催されますので、ぜひお越しください。
※イベントの詳細は改めてお知らせします。



令和6年度ふるさと応援基金を活用した金額 600万円

